

県政と皆様を結ぶ情報誌



県政報告

Vol.18

2023.3月発行

愛知県議会議員

神谷まさひろ



「日記形式での県政報告Vol.18」をお届け致します。

今回は先ず始めに、新聞等で報道された政務活動費の使用に関する件でお騒がせをしたことに対して心からお詫び申し上げます。何事も包み隠さず議員としての説明責任を果たすという思いで、敢えて新聞記事もこのレポートに掲載しながら、事実関係について説明させて頂いております。それ以外には、日頃の活動の一部や2月定例愛知県議会についての情報をお伝えしております。皆様にはぜひご一読頂き、神谷まさひろにご指導下さると共に、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。

テレビ・新聞等で報道された政務活動費の使用に関するお詫びならびに事実関係についてのご報告

県議当選後の令和元年5月より、私自身が代表取締役を務める会社から議員事務所を借り、賃料の一部に政務活動費を充てていました。県議会のマニュアルには法人から事務所を借りる場合に政務活動費を充てることを禁じる規定がなく、議会事務局に問い合わせたところ「個人所有でなく法人の所有であれば問題ない」との回答を得ておりました。

ところがこの度、名古屋市名東区選出のT県議会議員に対して、妻が100%出資する株式会社から借りた事務所の賃料に政務活動費を充てていたことに対する住民監査請求がなされ、愛知県監査委員は「不適切」と判断し充当した政務活動費の返還を請求するように知事に勧告がなされました。

この結果を受け、「関係する法人への賃料の支出」というかたちは私も同様でありますので、私自身も「返還すべきである」と考え2月20日(月)、自主的に22年3月までの修正書類を提出して、返還の手続きに入りました。そしてその後、マスコミ各社からの取材を受けたものです。

議会事務局からの「法人の所有であれば問題ない」との回答に沿って支出したものではありませんが、そのことを判断し実行したのは私自身であり、このたびの一件でお騒がせをしたことに対して、県民の皆様にご心からお詫び申し上げます。

尚、今回のT議員に対する監査委員の結論の中で「本件問題が発生した一因として、会派及び議員が政務活動費の運用のよりどころとするマニュアルの規定において、その運用解釈に疑義を生じさせる規定のあいまいさがあったことは否めず、かつ、愛知県議会において、これまで検討されてこなかった経緯もある。このような状況において、T県議が本件規定の解釈を誤っていたとしても、それを直ちに強く非難することは相当でない。議長に対し、今回の問題提起を機にマニュアルの規定を疑義が生じないものに改定することを要望する」と述べられていますので、今後、愛知県議会においてマニュアルの見直しが行われるものと思います。

政治費問題 規定改訂へ

県議会議長「指示」

県議一人が、事務所の賃借料に充てていた政治活動費（政治費）を相次いで返還する事態になったことを受け、県議会の須崎幹議長は二十一日、県議向けの政治費マニュアルを見直すよう「速やかに各会派の意見を聞きながら対応する」と本紙の取材に答えた。

県監査委員は十二日、妻が100%株主となっている会社から事務所を借り、賃料に政治費を充てていた筒井隆彌県議（名古屋市長東区Ⅱの処理を「不適切」とする監査結果を公表。また、神谷昌宏県議（刈谷市）は、自身が代表取締役を

務める会社の事務所の賃料を政治費で払っていたことが明らかになり、二十日に返還手続きを取った。

監査委員はマニュアルのあいまいさも指摘。法人（会社）から事務所を借りた場合に政治費を充てていないことを明確に禁じていないとして、県議会にマニュアル改訂を求めている。

須崎議長は改訂に向け「議会事務局に、ほかの都道府県議会（の事例）を調査するよう指示した」と説明。一方、大村秀章知事は二十一日の記者会見で「監査結果を受け、当然、速やかに直されるのでは」と県議会に注文を出した。

《中日新聞 令和5年2月22日(水)》

自身が代表の会社に 政治費で事務所賃料

神谷・愛知県議 全額返還意向

愛知県の神谷昌宏県議（刈谷市、一期Ⅱが、自身が代表取締役を務める

会社から議員事務所を借り、賃料に政治活動費を充てていたことが分かった。神谷県議は十日、初選した二〇一九年以降に支払われた全額を返還する意向を示し、議会事務局に報告済みの二年三月までの事務所費計七百万円分を修正する書類を提出した。

神谷県議によると、県議会の政治費マニュアルには、法人から事務所を借りる場合に政治費を充ててこ

とを禁じる明文規定がないことから、適切な支出と判断した。「議会事務局に何回も問い合わせ、大丈夫と言われた」と主張している。政治費を巡っては、筒井隆彌県議（名古屋市長東区、二期Ⅱが、妻が100%出資する株式会社から借りた事務所の賃料に充てていたとして住民監査請求され、県監査委員は十三日、「不適切」とする判断結果を公表。大村秀章知事も公費の使い方として「社会常識ではありえない」と批判し、筒井県議に対し事務所に充てた政治費計三百六十七万五千円を返還請求した。

神谷県議は「適切だと思

《中日新聞 令和5年2月21日(火)》

2.1 水 これから事業を始めようと考えている方へ

今

日から愛知県では『あいち商店街空き店舗情報ナビ』を開設しました。

愛知県内の商店街は、経営者の高齢化・後継者不足による廃業などによって空き店舗の増加が課題となっています。商店街は、商業機能の提供や地域コミュニティの担い手として、地域の持続的発展に欠くことできない重要な存在であるため、空き店舗の解消が必要となっています。そこで、愛知県では、商店街の空き店舗への出店、利活用を促進することで、商店街自体の魅力や集客力の向上を目指すことを目的に新たに開設したものです。

このサイトにおいては、公益社団法人愛知県宅地建物取引業協会の会員事業者が更新する最新の空き店舗情報と

ともに、商店街情報や市町村の支援制度等を含む情報を併せてご覧いただけます。これから事業を始めようと考えている方は、是非、このサイトで未来の自分のお店を探してみてくださいは如何でしょうか。



<https://aipoppo.com/shotengai-akitenpo/>



2.7 火 その1 交通事故の撲滅を願って

令

和5年刈谷市交通安全推進協議会に参与の立場で出席しました。

昨年の愛知県における人身事故は、発生件数が23,825

件、死傷者数は28,209人でした。このうち死者数は137人で、全国ワーストは回避したものの前年より20人も増加してしまいました。一方、刈谷市においては人身事故は昨年より109件減少して425件、死傷者数は168人減少し

て489人でした。人身事故のうち死亡事故は1件(死者数1人)ありました。

挨拶の機会がありましたので『交通事故の抑止には事故の被害を「自分事として考えること」「思いを馳せて想像すること」が大切。警察の皆様のパトロールに一市民として感謝する』といった主旨で挨拶をさせて頂きました。

市役所・警察・市民の協力により交通事故が減ることを祈っています。



2.7 ② その2 弱い立場の方に優しい政治を

夕 方、安城学園高校の元校長である坂田先生が主催している刈谷まちづくり市民会議に出席しました。市民活動として様々な分野で活動しておられる皆さんの集まりです。

今回のテーマは2つ、①村上文庫について・・・私「名前は知っていても詳しくは知りませんでした。少し落ち着いたらぜひ勉強してみたいと思います。」 ②刈谷市の課題を探る「もしも私が市長になったら」・・・私「私の政治に対す



るスローガンでもある『弱い立場の人に優しい政治』をぜひ実践したいと思います。」このように発言しました。

本来、市長であるならば未来の夢やビジョンを語り、ワクワクするような取り組みを語るべきなのかもしれませんが、特に最近の社会の状況を見ていると弱い立場の方々が益々苦しくなっているように感じ、そのように発言しました。

この「弱い立場の方」の中に今では中小零細企業や個人商店なども含まれているように思います。原材料や光熱費の暴騰、政府が言う「物価の上昇を上回る賃金UPを」、大企業ならそれも可能かもしれませんが、これまでも赤字すれすれでやってきた中小零細企業や個人商店にとってはムリな話です。販売価格に転嫁することが難しいのです。優秀な人材は益々大手企業に流れてしまいます。

大学を中退して40年間、零細企業の厳しさを経験した者として切実に感じます。

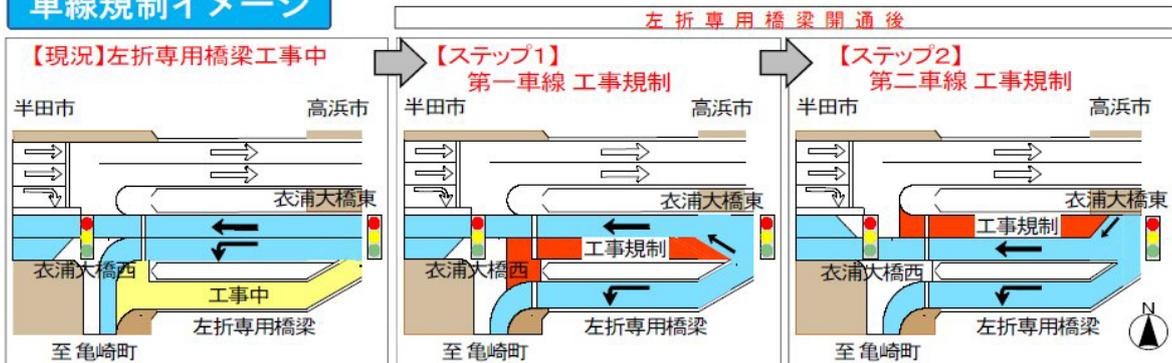
2.13 ① 愛知県知立建設事務所から連絡が入りました

衣 浦大橋の高浜市側から半田市方面へ向かう左折専用橋梁が3月25日(土)午後3時に開通することになりました。

但し、引き続き、既設橋梁の長寿命化を目的とした舗装工事を行う予定をしています。そのために車線規制を伴いますので、舗装工事完了(6月上旬予定)までは現在と同様、直進1車線・左折1車線の運用となります。



車線規制イメージ



2.22 水

2月定例愛知県議会が始まりました

今

日から3月20日まで27日間の会期で『令和5年2月定例愛知県議会』が行われます。

2023年度の当初予算は…

一般会計 2兆9,657億余円

特別会計 1兆3,591億余円

企業会計 2,790億余円

で、合わせて4兆6,039億余円です。

その中から幾つかの事業について紹介します…

- 新型コロナウイルスの経済対策として、中小企業の資金繰り、新サービス・新製品の開発、プレミアム商品券発行事業への支援など
- 「もののけの里」「魔女の谷」の整備を推進し、ジブリパーク全5エリアを開園
- スタートアップの支援拠点[STATION Ai]を核にしたイノベーションの創出
- アジア・アジアパラ競技大会の推進
- 35人学級を本県独自に小学校第5学年に拡充
- 中高一貫教育の第一次導入校の設計及び建設工事、第二次導入校の設計
- 部活動の地域移行推進
- 校内教育支援センター(校内フリースクール)の設置
- 私学助成について、幼稚園に対する外部人材配置経費の補助の創設
- 世界身体障害者野球大会の開催支援(9月9日・10日バンテリンドーム)
- 藤田医科大学病院に本県2機目のドクターヘリ導入
- 将来のがんセンター整備に向けた検討調査
- 若年がん患者を対象とした在宅サービス利用及び福祉用具貸与・購入支援
- 技能五輪全国大会・全国アビリンピック開催支援
- 人手が不足している業界の人材確保に向けたマッチング支援
- 外国人児童生徒に対応する小中学校教員の配置拡充、市町村が実施するプレスクールの運営支援
- 日常生活で必要な情報を多言語で発信、外国人県民向け防災ガイドブックの作成
- ウクライナ避難民に対する生活一時金の支給、タブレット端末の貸与
- 総合型地域スポーツクラブの運営や指導者確保の支援
- 大河ドラマ展開催等「どうする家康」の活用
- 愛知県基幹的広域防災拠点の整備

冒頭、知事より議案の提案説明があり、その最後で次のようにあいちの明日に向けた決意を語られました。

『最後に、結びとして一言申し上げたいと存じます。

これからも本県は、東京一極集中にストップをかけ、イノベーションを創出する好循環を生み出す日本の成長エンジンとして、将来にわたって我が国の発展を力強くリードし続けてまいります。

「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信するとともに、「STATION Ai」を始めとした日本の未来を形作るビッグプロジェクトを成功に導き、跳び上がる兔のように愛知を更に飛躍させていく。こうした思いを2023年度当初予算に込め、【跳躍飛躍】予算として編成させていただきました。

そして、グローバル化、デジタル化、SDGsに全力で取り組み、日本一の産業集積・愛知を更に成長させ、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる住みやすさ日本一の愛知、すべての人が輝き、多様な文化・スポーツ・歴史を享受できる、未来へ輝く「進化する愛知」をつくってまいりたいと考えております。』

その知事から最近、私に励ましのCメールが頻繁に送られてくるようになりました。このレポートの2ページで紹介した新聞報道のあった翌日には次のようなメールがありました。

「脇目もふらずに頑張れ。己を信じて。応援してくれる人達を信じて。ただ、ひたすらに信じる途を貫くのみ。必ず途は開ける。」「大村から激励のメールがあったと。みんなに言ってくれ」



知事の励ましに応えるためにも今の逆風を跳ね返して、私も知事と共に愛知の【跳躍飛躍】に少しでも貢献出来るように頑張る所存です。

